

2015年度（2015年4月1日～2016年3月31日）

特定非営利活動法人 ぐらす・かわさき 活動報告

■2015年度を振り返って

2015年度は第4期中期計画（2013～2015）の最終年度でした。中期目標は次の3つでした。

- (1) 「遊友ひろば」の事業を整理し、様々な場所での交流の場を模索していく。
- (2) 「メサ・グランデ」のコミュニティビジネス・インキュベーターとしての機能を充実させる。
- (3) 地域のお金が地域で循環する仕組みづくりに参画する。

(1) 「遊友ひろば」は、登戸区画整理事業の進展を待ちながら、ボランティアによる運営委員会体制で無事2年目を終えることができました。地域に愛される場として2016年度以降も運営を続けられるように、賃貸物件の更新料（2016年5月に発生予定）を支払う余力を残した運営ができました。

(2) 「メサ・グランデ」は開設から丸4年、食と農の地域交流拠点、創業支援のインキュベーションの場としてコミュニティカフェのモデル的存在感を高めてきました。他の中間支援組織と連携し、セミナー、インターンシップ事業などの取り組みを積極的に行い、地域をよくする活動をしたい人材の育成に取り組みました。居心地の良い、したがって回転率の良くない店だからこそ交流の場として適しており、多様な人の働く場、居場所として就労支援施設などからの研修生の受け入れ実績も積んできて、2015年度末に川崎市の地域活動支援センター新設公募に再チャレンジし、採択が決定しました。

(3) 地域のお金が地域で循環する仕組みとして一般財団法人「かわさき市民しきん」を他の様々な人たちと立ち上げ、その事務局を応援してきました。

上記のように、中期計画は一定程度の目標をクリアすることができました。

□

また、川崎市コミュニティビジネス振興事業・地域子育て支援事業を引き続き受託し、地域人材の育成や子育てママのコミュニティづくりに成果を残しました。

スタッフ体制は、人員減のなか、スタッフ個々の負担は増大しましたが、それぞれのスキルアップに依拠し、様々な事業をすべて無事に執り行うことができました。

2015年度の会員数

	正会員個人	正会員団体	賛助会員	合計
2014年度末	119名	6団体	17名	142名
2015年度末	116名	7団体	17名	140名

※個人会員の入会が3名、脱退が6名、団体会員の入会が1団体、賛助会員の入会が1名、脱退が1名。

■2015年度事業内容

(1) 市民活動を支援するための事業の企画・実施（定款第5条(1)）収入・支出：0円

① 「かわさき市民しきん」事務局を支援する（担当理事：江田）

ぐらす・かわさき設立のきっかけともなった、市民の想いを表すお金（志金）と、地域の課題を解決しようと活動している団体とをつなぐ、一般財団法人「かわさき市民しきん」の立ち上げに寄与し、この活動のスタートアップを応援しました。事務や打ち合せのためのスペースの提供などを行いました。

② さまざまなグループへの参加と応援（担当理事：江田）

○市民活動グループとのネットワークを広げ、市民活動がより活発になるよう参加し応援しました。

- ・「多摩丘陵緑地保全ネットワーク（通称たまよこネット）」会員として参加（江田）
- ・「教育に憲法を生かす川崎市民の会」会員として参加（江田）
- ・「かながわ生き生き市民基金」評議員として参加（江田）
- ・「地域通貨たま運営委員会」事務局として参加（江田）
- ・「たちばな農のあるまちづくり推進会議」副委員長・委員として参加（田代・吉田）
- ・「多摩区観光協会」理事として参加（町田）
- ・「NPO 法人セカンドリーグ神奈川」理事として参加（田代）
- ・「かわさき市民しきん」代表理事・理事として参加（広岡・江田）

○次の団体に団体会員として登録し、主に広報協力、情報交換などを行いました。

「川崎 NPO 法人連絡会」「NPO 法人フリースペースたまりば」「NPO 法人ワーカーズコレクティブ協会」「NPO 法人アクションポート横浜」「NPO 法人まちづくり情報センター神奈川（アリスセンター）」「NPO 法人たすけあい多摩」「川崎商工会議所」「登戸東通商店会」「新城南口商店会」

○次の団体に協力団体として参加しました。

「福島の子どもたちとともに、川崎市民の会」

■**成果/課題**：ぐらす・かわさきの設立母体だった団体のつながりから続いている団体や、ぐらす・かわさきの活動から別組織化した団体、ぐらす・かわさきのミッションにあったグループへの参加（無償での参加）を通して、連携・ネットワークづくりにおいて成果がありました。

（2）コミュニティビジネス（CB）を支援するための事業の企画・実施（定款第5条(2)）

①メサ・グランデ事業（担当理事：岸田・竹林・田代、スタッフ：田代・吉田・青木・清水佳・新堀・山上）

収入：10,942,042円（予算16,040,000円）・支出：9,262,143円（予算9,685,000円）

内訳：野菜：売上4,220,625円（昨年比77%）・飲食：売上4,560,975円（昨年比69%）・イベント：参加費58,800円（昨年比111%）・ワンデイシェフ：利用38回 売上380,000円（昨年比102.7%）・貸しキッチン・貸しスペース：利用110回 売上313,000円（昨年比126.3%）・委託費（就労支援事業所からの研修受入委託・たちばな農のあるまちづくり推進会議からの「さんの市」コーディネート料・マップ作成委託等）738,380円（昨年比160%）・補助金（パルシステム神奈川ゆめコープ）147,600円・その他（雑収入など）124,762円

食と農の地域交流拠点として、地場野菜の販売と援農・地場野菜を使った食事の提供による交流の場づくりを行いました。野菜のセット販売や配達も実験的に行いました。「縁農プログラム」はパルシステム神奈川ゆめコープより助成金をいただきました。

また地域交流の場として様々なイベントを開催しました。NPO 法人セカンドリーグ神奈川と連携し、子ども食堂のメサ版として「ふらっと食堂@メサ・グランデ」を2回開催し、地域の協力が得られることになったので来年度は主催事業として毎月開催にしていきます。

コミュニティビジネスや地域活動への場の提供、ワンデイシェフや貸しスペースによるインキュベーション事業を行い、活動の立ち上げや継続の支援を行いました。また多様な働き方、社会参加の在り方が自然にできる場の創出として、引きこもりや障害など困難を抱えた人の就労研修の受け入れなどを行いました。

○主なイベント

- ・「縁農」（主催）7回開催 延べ49人参加（1回平均7人）売上22,500円・助成金147,600円

- ・「うたごえサロン」(主催) 12回開催 延べ48人参加(1回平均4人)
- ・「大宴」(主催) 5回開催 延べ100人参加(1回平均20人)
- ・「ふらっと食堂」(NPO法人セカンドリーグ神奈川主催に協力)
2回開催で大人52食・子ども48食(1回平均50食)
- ・「川崎市予算学習会」講師：三浦淳さん(食事つき) 20人参加

○コミュニティビジネス支援を目的とした主なレンタルスペース利用実績

- ・ボードゲームカフェ(わくラボ主催) 130回開催
- ・「goo-bit お酒の自習室」(神奈川県産地消プロジェクト goo-bit 主催) 8回開催
- ・「中国酒講座」((有)ファイブエム主催) 5回開催
- ・「梅ちゃん先生の暮らしごと相談会」(梅本誠行政書士事務所主催) 5回開催
- ・「まちづくりカフェ」(市民と行政の有志主催) 3回開催
- ・コミュニティビジネスに関する講座等への場の提供
「caféの学校 in かわさき」(日本政策金融公庫主催に協力)
6月17日～7月22日の全5回(ワンデイシェフ実習1回含む) 参加者 20名
「コミュニティカフェ開設講座」(長寿社会文化協会主催に協力)

11月21日と1月24日の2回(各期5回連続講座の初日)参加者それぞれ15名・16名

②川崎市シニアの居場所創出支援事業(担当理事：田代・町田、スタッフ：田代・吉田)

収入：1,263,900円(予算1,000,000円)・支出：1,263,900円(予算1,000,000円)

孤立化・孤独化する地域社会で、生きがいづくりやコミュニティ活性化の拠点の運営主体を地域に増やし、元気なシニアの役割を創出することを目的とし、川崎市達人倶楽部の事業として、川崎商工会議所の委託を受け、NPO法人れんげ舎代表理事長田英史さんを主講師に「地域のたまり場・コミュニティカフェ開設講座」を開催しました。受講生にも大変好評でした。最終的に、今後カフェを開設(常設に限らず)する受講生は3名、時期は明確ではありませんがいつかカフェを開設したいと考える受講生が5名、カフェの手伝い・イベントなど、だれかのカフェに関わりたいという受講生が4名という結果となりました。カフェを開設するには、さまざまな課題があると認識した人がいる一方、仲間づくりの手法を学んだり、実際にコミュニティカフェを見学しオーナーの話を聞いたりすることによって、前向きに考えられた人もいました。

- ・期間：10月21日～12月16日の全9回(内視察ツアー2回)
- ・会場：川崎市産業振興会館12階会議室
- ・受講者：30名(申込み42名から抽選)
- ・年度内起業者：なし、次年度就業決定者：1名

③川崎市コミュニティビジネス振興事業(担当理事：竹林・田代、スタッフ：田代・吉田)

収入：2,028,620円(予算2,000,000円)・支出：2,028,620円(予算2,000,000円)

川崎市の委託事業。市民のコミュニティビジネスやソーシャルビジネスに対する関心を高め、それらに就業・創業したい人や、すでにそれらの事業を行っている事業者への支援等を通して、市域でのコミュニティビジネス、ソーシャルビジネスの振興を図ることが目的。メサ・グランデに起業相談窓口を設置し、相談対応と「地域や社会をよくするためのしごとのはじめ方セミナー」という連続講座を開催した。

○相談対応

対応数：計70名延べ91回(去年は49名64回)

相談内容 起業（企業の新規事業含）27件、就業4件、継続16件、情報収集15件、協力相談8件

成果 年度内に起業：5件、次年度起業決定：1件、年度内就業：2件、次年度就業決定：3件

○連続講座「プレ講座：地域密着スモールビジネスで起業」7月4日 参加者：25名

○「地域や社会に貢献できるしごとのはじめ方セミナー」（あったらいいな！こんなビジネス）

- ・主講師：中小企業診断士竹林晋さん
- ・期間：7月18日～9月12日の全7回
- ・会場：川崎市産業振興会館12階会議室
- ・登録者：37名、参加者31名（1回平均参加者19名）
- ・年度内起業家：1名

■**成果/課題**：メサ・グランデは野菜・カフェの売上げは予算を達成できなかったため、まだやり方に工夫の余地があり、野菜セットや配達などを積極的に続けていく必要があります。飲食の売上げも、ランチだけでなく、弁当や夜のパーティに拡大していくことが必要ですが、体制面で整わず十分できませんでした。年度末には次年度の地域活動支援センター事業（障害のある人の居場所事業）が川崎市に採択され、KSアカデミー修了生と「地域のたまり場・コミュニティカフェ開設講座」受講生をスタッフとして採用しました。

創業支援に関しては、日本政策金融公庫や長寿社会文化協会、セカンドリーグ神奈川等他の中間支援組織との連携で、プログラムが提供できました。前年は国の創業支援関連の補助金事業として単独での講座開催を行いました。他の支援機関との連携によるフォローアップの多様性が、受講生にとってもメリットがあると実感でき、今後もそのような連携を深めていくことが重要と考えられます。

「大宴」と題して、起業講座等の修了生のネットワークづくりにも力を入れ、起業に向けた具体的ステップを後押しできました。更に起業の成果を今後も引き続き出していくべく、長期にわたるフォローをしていく必要があります。

川崎市からの受託事業「シニアの居場所創出支援事業」と「コミュニティビジネス振興事業」は、充実した講義と現場見学や受講者のネットワークづくりの機会を多く設けたことが参加者に好評を得ました。前年からの継続や今年新規の相談も含め、相談件数が年々増加しており、起業や就業に結びついた方も続々とできました。ただ、単年度ごとの契約なので、長期にわたる相談対応の基盤ができていないことについて川崎市に提言を続けていく必要があります。

（3）子育てを支援する場所の運営及び関連事業の企画・実施（定款第5条(3)）

川崎市地域子育て支援センター「おとおと」（担当理事：池畠、スタッフ：小林・手塚・山下）

収入：1,917,771円（予算1,900,000円）・支出：1,917,771円（予算1,900,000円）

「場」を通じて、子どもにとって友だちができること、お母さんにとっても仲間と出会えること、このまちに住む人にとっても、子どもたちのことを考え交流できることを目的としました。中原区の委託を受け、大戸こども文化センター内で、週3日午前中、未就園児とその保護者向けのサロン事業「おとおと」を実施しました。事業を継続するのに加え、これまでの経験から見てきた、今の親子にとって大事な支援とは何か、現在の子育て支援センターの役割などを市へ提案を続けることや、当事者のお母さんたちが主体的な関わり方ができるような支援を心がけて運営を行いました。

- ・実施日数：155日、利用人数：3,980人（1日平均26名）

■**成果/課題**：「地域子育て支援センターおとおと」として、4年目の実施となり、日々の運営の中から当事者であるお母さんたちが主体的な関わり方ができるような運営ができました。運動会やクリスマス会、

豆まきなど、お母さんたちが企画から関わり、行事を行えました。よい形で運営が出来ていましたが、現在のスタッフが個々の事情で運営を継続することができず、次年度は新しいスタッフを募集して事業に応募し、新しい体制で事業を継続していくことになりました。

(4) 市民が交流する場所の運営及び関連事業の企画・実施 (定款第5条(4))

①遊友ひろば事業 (担当理事：池上・鈴木健介・町田)

収入：3,573,164円 (予算3,330,000円)・支出：3,235,743円 (予算3,320,000円)

様々な運営努力により、2016年5月に予定している賃貸物件更新に備えた運営ができました。幅広い世代の住民の交流を促進し、周辺地域のコミュニティを活性化するため、ひろば運営に関心のある有志で運営委員会を設け、以下のような事業を行いました。

○地域住民等への活動場所の提供 担当ボランティア：池上・秋山・細埜 (石橋屋酒店)

- ・キッチン付き貸スペース…1時間1,200円 (うち200円まで使用可)。新規利用者が2時間以上利用する場合は初回1時間無料特典を実施。
- ・荷物保管用引出し等 (1カ月500円)
- ・手紙の受け取り場所としてのレターボックス (1カ月300円)
- ・壁面掲示・チラシラック等を活用した情報提供 (地域の市民活動・行政等の情報)

前年度に引き続き、登戸東通り商店会の会議等の場として活用いただきました。(月額2万円)

新たに定期利用も増え、収入も増えました (1,079,800円：前年比1.2倍16万円増)。

年度	団体・個人数 (新規)	延べ 回数	時間	収入		支出	
				円	たま	円	たま
2015	42 (15)	363	994	1,079,800	68,950	0	12,700
2014	定期的 11(4) 不定期 28(14)	定期的 203 不定期 93	804	918,950	49,550	0	1,500

※空欄は未集計・総会当日入れ込みます。支出は直接的なもののみ。保険料や家賃は按分していない。

○健康麻雀 担当ボランティア：瀬川・町田・長谷川・馬上・盛澤ほか

主に年配者が麻雀を通して地域の人と交流をし、自然に頭や指先を使うことで、心身の健康の促進を図るためのプログラムです。多いときには最大卓数 (5卓) になる場合もあります。

- ・初級者サロン…火曜13時～17時。1回1200円 (500円まで使用可)。和気あいあいと楽しく、「生きがい」と感じている方もおり、休みにすると寂しいと参加者が自主開催することもあります。
- ・健康麻雀サロン…金曜10時～15時。1回1500円 (500円まで使用可)。勝負に集中して殺伐とした雰囲気になる場面もあり、『人に優しく』を合い言葉に克服中です。

年度	曜日	開催 日数	平均卓数 (人数)	延べ人数 (内ボラ)	収入		支出		収支	
					円	たま	円	たま	円	たま
2015	火	50	3.7 (15)	731 (27)	772,200	24,200	46,223	44,200	+725,977	-20,000
	金	50	3.8 (15)	784 (41)	959,100	21,700	44,489	25,800	+914,611	-4,100
2014	火	49	3.4 (14)	669 (79)	634,500	38,700	34,826	63,560	+599,674	-24860
	金	49	4.2 (17)	815 (509)	1,007,100	20,400	63,974	22,900	+943,126	-2,500

※空欄は未集計・総会当日入れ込みます。支出は直接的なもののみ。保険料や家賃は按分していない。

○親子ひろば 担当ボランティア：粕谷・秋山・中野・平田

おもに0～1歳の子どもと育休中の母親が利用しており、知り合うきっかけの場になっています。利用者の希望に基づき多彩な講座等イベントを実施（別途イベント参加費が必要）しており、地域の人材をその講師として起用し、講師デビューの場にもなっています。

・水曜 10時半～14時。参加費 300円。100 たままで使用可

年度	開催 日数	平均 組数	延べ 組数	収入		支出		収支	
				円	たま	円	たま	円	たま
2015	39	6.7	263	77,600	1,300	15,202	45,150	+62,398	-43,850
2014	37	5.5	202	59,450	1,650	43,595	12,100	+15,855	-10,450

支出は直接的なもののみ。保険料や家賃は按分していない。

○土井さんのマクロビオティック料理教室（下半期より「オーガニック料理教室」に名称変更）

講師：土井由美子さん（ぐらす・かわさき会員）

担当ボランティア：町田・鈴木和子・宮下

季節料理、行事をとりいれつつ「自然の恵を残さず丸ごといただくこと（一物全体）、暮らす土地の旬のものを食べる（身土不二）」を基本とし、体調に合わせた料理をつくるコツを学ぶプログラムです。20～60代と幅広い世代が参加しています。今年度より第1水曜の開催をやめて第1土曜日のみ開催としました。また下半期より「マクロビオティック料理教室」から「オーガニック料理教室」へ名称変更しました。参加人数が少ない場合は中止したため収支は改善しましたが、広報強化が課題です。

・利用料 1回 2500円（1回につき 100 たままで使用可）。

年度	開催 日数	平均 人数	延べ 人数	収入		支出		収支	
				円	たま	円	たま	円	たま
2015	7	6.3	44	106,427	1,000	61,107	1,800	+45,320	-800
2014	15	4.5	68	137,850	0	99,400	5,600	+38,450	-5,600

※空欄は未集計・総会当日入れ込みます。支出は直接的なもののみ。保険料や家賃は按分していない。

○寺子屋 担当ボランティア：小野・川口・高崎・徳田・野口・町田

講師…地域のボランティア

小学4年生から中学生に学びの楽しさを伝え、学習できる居場所を提供するプログラムです。中学生の人数が増え、収支が改善しました。経済事情が厳しい家庭に寺子屋の情報をいかに届けるかが課題です。

・教科…算数・数学・英語。月曜日開催。1時間 500円。

年度	科 目	開催 日数	平均 人数	延べ 人数	収入		支出		収支	
					円	たま	円	たま	円	たま
2015	算	39	1.9	74	416,450	0	188,500	0	+227,950	0
	数	39	7.5	293						
	英	39	9.1	355						
2014	算	41	2.2	91	51,500	0	159,934	0	+160,566	0
	数	41	6.0	247	116,000					
	英	41	7.4	305	153,000					

※空欄は未集計・総会当日入れ込みます。支出は直接的なもののみ。保険料や家賃は按分していない。

○学習会・講座の企画・運営 担当ボランティア：町田

暮らしの中の疑問、環境・人権・平和問題等について学び合う場を設け、地域での交流を図りました。企画、運営してみたい方を募り、一緒に企画を作っていました。

・3/19「認知症サポーター養成講座」：参加者7名（商店会や近隣住民）

○商店街活性化のための活動

これまで依頼があれば、多摩区商店会連合会の総会議事録や登戸東通り商店会の商品券作成などの事務補助などを行ってきましたが、2015年度は依頼がなく、その他の業務も発生しませんでした。

■**成果/課題**：運営ボランティアの作業が分散でき、安定的な維持体制が図られてきました。区画整理の進展に応じて現在の場所を立ち退くときに備え、移転または撤退するか、利用者を含めた方針決定・意思統一が課題として残っています。

（5）以上の事業に関わる調査・研究及び情報の収集・提供（定款第5条(6)）

① 広報（担当理事：池上・葉袋・江田、担当スタッフ：田代・吉田）

収入：154,600円（予算10,000円）・支出：181,137円（予算125,000円）

人員体制が厳しい中、ぐらすレターの発行を年3回とし、ホームページやフェイスブックページの活用を進めました。ぐらすレターの郵送分も、メーリングリストでの配信に少しずつ切り替えており、郵送費用の縮小を進めました。

② 講師派遣

依頼に応じ、スタッフを講師として派遣し、コミュニティビジネスや市民活動を支援しました。

- ・幸ロータリークラブ（田代）
- ・NPO法人高津スポーツセンターSELF運営の「久本小学校寺子屋」（吉田）
- ・KSソーシャルアカデミー 市民ビジネスリレー講座（田代）
- ・長寿社会文化協会「コミュニティカフェ開設講座」（田代）
- ・東京家政大学（広岡）

③ 行政などに関わる委員会への参加

川崎市協働・連携のあり方検討委員会（広岡）

川崎市都市計画審議会・川崎市都市マスタープラン作成小委員会（田代）

神奈川県住宅政策懇話会（田代）

■**成果/課題**：ぐらすレターの発送数はさらに縮小できると思われるので、会員に再度、WEBへの移行を進めていく必要と、会員以外への発送先の見直しを行っていく必要があります。講師活動もさらに拡大していく時期に来ています。行政などに関わる委員会への参加は、政策提言への直接的な場でもあるので、今後も積極的に参加しく必要があります。